

2020年8月13日

本社所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目 23 番 5 号
 上場会社名 株式会社サニーサイドアップグループ
 代表者 代表取締役社長 次原悦子
 (コード番号: 2180)
 問合せ先 取締役 グループ管理本部本部長 相田 俊充
 電話番号 03-6894-3232

2020年6月期通期連結業績予想値と実績値との差異および特別損失の計上に関するお知らせ

2020年5月11日に公表しました2020年6月期(2019年7月1日～2020年6月30日)の通期業績予想と本日公表の実績値に差異が発生しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2020年6月期第4四半期連結会計期間において、特別損失を計上しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年6月期通期連結業績予想値と実績値の差異(2019年7月1日～2020年6月30日)

(1) 差異の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回公表予想 (A)	百万円 13,810	百万円 249	百万円 77	百万円 ▲179	円 銭 ▲11.92
実績値 (B)	14,094	420	275	▲210	▲13.97
増減額 (B-A)	284	171	198	▲31	—
増減率 (B-A) / (A)	2.1%	68.7%	257.1%	—	—
前期実績	14,627	610	718	493	33.42

(2) 差異の理由

(売上高)

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言期間中であつた前回公表(2020年5月11日)時点において、bills事業については、国内の一部店舗およびハワイの店舗の営業再開時期が未定であつたことに加え、営業再開後における集客の回復状況などの不確定要素が多く、また前回公表時点における外出自粛ムードを考慮すると保守的な予想にせざるを得ない状況でしたが、当初の予想より早いタイミングで国内および海外の全店舗の営業を再開できたことに加え、bills事業以外のセグメントにおける業績が概ね想定通りの水準で進捗したことで、売上高は前回予想を若干上回る着地となりました。

(営業利益)

bills事業における既存店舗の営業が再開できたことで、売上高発生に伴う利益の獲得から固定費負担が軽減された

結果、営業赤字幅が縮小したことに加え、その他のセグメントについては概ね想定通りの水準で推移したことにより、営業利益は前回予想を 68.7%上回る着地となりました。

(経常利益)

上記の営業利益の大幅な増加に加えて、営業外収益では当初見込んでいなかった助成金収入の計上があったこと、連結決算における営業外費用は概ね想定通りであったことから、経常利益は前回予想を 257.1%上回る着地となりました。

(親会社株主に帰属する当期純利益)

下記 2. に記載の特別損失の内容を反映した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回る着地となりました。

2. 特別損失の計上

当社の連結子会社が事業開発を目的に保有する投資有価証券について、新型コロナウイルス感染拡大に起因する投資先企業の事業環境悪化の影響を慎重に検討した結果、2020年6月期第4四半期連結会計期間において、投資有価証券評価損 89 百万円を計上しました。

なお、2020年5月11日付の当社適時開示「特別損失（減損損失）の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当社の連結子会社が保有する bills 事業に係る固定資産（店舗設備）について、固定資産の減損に係る会計基準に基づき、2020年6月期第3四半期連結期間（2019年7月1日～2020年3月31日）までに 218 百万円を計上しており、その他の要因を含めた 2020年6月期の連結決算における特別損失の合計は、359 百万円となりました。

※本資料に記載されている業績見通し等の記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって当該予想と異なる場合がありますので、予めご了解ください。

以上

(本件に関するお問合せ先)

株式会社サニーサイドアップグループ グループ管理本部 経営企画部 TEL 03-6894-2241